

大学生の推し活とライフスタイル

—キャラクターが与える影響—

成田有羽

本研究は、二次元、三次元問わずキャラクターを推しており、尚且つ推し活をしている人はどのような影響を受けているのかを明らかにすることを目的とする。

第1章では「オタク」と「推し活」についての先行研究を取り上げた。現在とはやや異なる意味で用いられていた「オタク」について、推し活との関わりを社会的側面、心理的側面から先行研究をまとめた。

第2章ではいつ頃から「推し活」が世間に浸透してきたのか、企業が行った「推し活」についてのアンケート調査を見ながら推し活のメリット等を取り上げた。

第3章では推し活によってどのような影響を得ているのかを知るために実施したアンケートの各項目結果について提示した。調査によると、推しがいると回答した8割の中から推し活をしたことがあると回答した人は8割を超えており、推し活が浸透していることが分かった。推し活の行為として、グッズを買うことが最も多かった。また、推し活をしていて良かったと思った瞬間は、「常に思っている」「日々を頑張る糧になる」と言った回答が複数あったことから、推し活が精神面に良い影響を与えていることが分かった。

第4章では、第3章のアンケート結果から明らかになったことを踏まえ、社会的側面、心理的側面から考察した。推しの対象が二次元、三次元と異なると推しになるきっかけや、推し活をしていて印象に残っているものに違いが見られた。二次元の場合、外見よりも性格等の中身が重要で推しになるが、三次元の場合は外見の方が重要視されている。

これらのことから、現代の若者にとって推し活とは日常生活から切り離せない存在であることが分かった。また、自身が推し活している様子を公開するまでが推し活だと見受けられる。推し活している人は、推し活を通して幸福を感じていると言える。大多数の人が推し活していることを隠していないため、自分が誰を推してどのような推し活をしているのかを周りに知らせることまでも含めて楽しんでいると考えられる。これからも推し活は益々浸透し、様々な楽しみ方で日常生活に彩りをもたらすだろう。